

年の瀬にネオンの港煌めきて
友の生きざま満月に語る

令和五年十一月二十七日

大中臣正比呂



コロナで途絶えていた同窓会が、四年ぶりに開かれた。
亡くなった先輩も多く、来なかった友も多いけれど、元気なことだろう。
殆どが勤め先を退職しているのだから、既に自由業ではある。
これから「忘年会」と称する飲み会の正当化がラッシュユで来る。